

# 子育て学習講座

～学校や地域とともに築く家庭教育～

## ◆活動の目的・理念

- 各年齢層の児童・生徒を持つ保護者のために、参観日や保護者会等の機会を利用し、子育てに関する講座を実施することにより、家庭教育の向上を図ることを目的とする。

活動拠点		講座・学習 会開催数	58 回	小学校	48 回	中学校	10 回
------	--	---------------	------	-----	------	-----	------

## 取組の概要

### <主な取組内容>

- **小学校での就学時健診等を活用した子育て学習講座**
  - ・就学前の子どもを持つ親を対象とした講座
  - ・各小学校単位で実施
- **小学校での参観日等を活用した子育て学習講座**
  - ・小学生の子どもを持つ親を対象とした講座
  - ・各小学校単位で実施
- **中学校での参観日等を活用した子育て学習講座**
  - ・中学生の子どもを持つ親を対象とした講座
  - ・各中学校単位で実施



「就学時子育て学習講座の様子」

### 保護者の感想

- ・配慮を必要とする子どもへの対応が分かり、たいへんよかった。学校としても、支援を必要としている子どもや親のことを考えてくださるようになったのだと思うと、たいへんうれしく思います。
- ・「子どもには、できる子とできない子がいるのではなく、早くできる子とゆっくりできる子がいるだけ」という先生の言葉に、はっと気付かされました。今、この瞬間の子どもとの温かいかわりこそが大切なのだとわかりました。

### <特色ある取組>

- **親子で深める「スマホ・ケータイ安全教室」**

5校時に、「スマホ・ケータイ安全教室(児童編)」として、5・6年生対象に講演を実施。この時間は参観授業としていたため、保護者の方々にもその講演を聞いていただいた。

その後、大人がもう少し深く学ぶために、15時から「スマホ・ケータイ安全教室(保護者・教員編)」を実施した。このことにより、家庭におけるスマホの使い方について親子で話し合いながらルール作りをすることができた。



〈参観日後の保護者向け講演〉  
児童と同じ内容を深め、家庭で話し合う

## 事業を実施して

### 【成果】

- グループで話し合うことで保護者同士の人間関係に深まりが見られた。
- 子どもを見つめ直すよい機会になった。
- 発達障害の子どもへの理解が深まった。
- スマホ等の危険やトラブルから子どもをどのように守るか、親子で深める機会ができた。
- 日頃の悩みの解決につながった。

### 【課題】

- 保護者に望むことや伝えたいことについては伝えることはできたが、保護者の不安や悩みを解消することができたかといえば、疑問である。保護者の不安や悩みを出し合うことができるような場を工夫して設定することも必要ではないかと感じた。
- より多くの方へ聞いていただくことができるような機会等の設定を工夫したい。